

紀州・和歌山 歴史ロードマップ

北区でたどる紀州の今昔

紀州・和歌山歴史ロード

全長約5.5km 徒歩約80分

- 1 清光寺 徒歩約6分
- 2 紀州神社 徒歩約28分
- 3 王子神社 徒歩約13分
- 4 飛鳥山 徒歩約10分
- 5 平塚神社 徒歩約3分
- 6 旧古河庭園 徒歩約3分
- 7 六義園 徒歩約20分

4 飛鳥山

東京都北区王子1丁目1-3

八代将軍徳川吉宗の命によって享保5年(1720)から翌6年にかけて、飛鳥山に1,260本もの桜が植えられ、享保18年には桜が根付いて花を開かせるようになり、水茶屋が10ヶ所建てられ、江戸市民の行楽の場となりました。

元文2年(1737年)閏11月に、吉宗による事績を顕彰するための「飛鳥山碑」が建てられました。この碑文は江戸時代には飛鳥山のランドマークともなり、浮世絵などで芝山に桜と石碑を描けば飛鳥山を示しました。明治6年には東京で5ヶ所ある太政官公園のひとつにも選ばれました。

現在も桜の季節になると、多くの花見客で飛鳥山公園は賑わいを見せています。



6 旧古河庭園

東京都北区西ヶ原1丁目27-39

庭園はもと明治の元勲・陸奥宗光の別邸でしたが、彼の次男潤吉が足尾銅山で名高い財閥古河家の養子になり、以降この地は古河家の所有となりました。(この当時の建物は現存していません。) 武蔵野台地の高低差に富む地形を巧みに利用した、大正初期の庭園の原型を留める貴重なものです。戦後、一時進駐軍(英国将校)の管理に移り建物は荒廃しましたが、やが

て国の所有となりました。地元の要望などを取り入れながら、東京都が国から無償で借り受け、一般公開されました。建物は創建時に近い状態に復元修理され、現在に至っています。

洋館と洋風庭園の設計者は、明治政府の「お雇い外国人」英国人ジョサイア・コンドル博士、日本庭園の作庭者は、京都の庭師「植治」こと七代目小川治兵衛です。



7 六義園

東京都文京区本駒込6丁目16-3

六義園は、五代将軍徳川綱吉の側用人である柳澤吉保が1702年に築園した「回遊式築山泉水」の大名庭園です。吉保は和歌や儒学・仏教への造詣が深く、和歌の趣味を基調とする六義園の名は、中国の詩の「六義」にならった古今集の序にある和歌の分類に由来しています。江戸時代の大名庭園の中でも代表的なこの庭園には、和歌の浦や吹上浜、紀ノ川や

藤代峠(藤白峠 海南市)、新玉松(和歌の浦鎮座の玉津島神社「衣通姫尊」)など、庭園の随所に紀州の景勝が映し出され、また『万葉集』や『古今和歌集』より名勝を取り出し、八十八境を構成しています。



北区と紀州・和歌山の古くてなが〜い意外な関係

北区には意外にも!?古くから紀州和歌山とのつながりがたくさんあります。

それは、平安後期に豊島郡(現在の北区を中心とした地域)を本拠とした武士団である豊島氏、その中でも源頼朝の基で活躍した豊島清光の時代からとされています。その息子有経は、紀伊守護に任じられ、豊島氏は、豊島郡の各所を荘園として紀州熊野三山に寄進しました。王子神社は紀州熊野信仰の拠点となった神社であり、紀州神社は五十太郎神社(現伊太祁曾神社・和歌山市)を勧請したのがはじまりです。

くだって、江戸時代、紀州藩主だった八代将軍徳川吉宗は、鷹狩りに訪れていた飛鳥山の地が故郷紀州と関係のある王子神社からほど近いことなどに縁を感じ、飛鳥山に1270本もの桜を植え、桜の名所として広く庶民に開放しました。吉宗の事績を顕彰した「飛鳥山碑」は、江戸城にあった紀州の巨石を使って建立されたものです。

最後に、西ヶ原にある旧古河庭園は、明治の元勲・陸奥宗光(紀州出身)の別荘でした。飛鳥山に別荘を持つ渋沢栄一との付き合いは、明治初期から始まり、多くの手紙のやりとり、親族を交えた交流が続き、近代日本の礎を築きました。

3 王子神社

東京都北区王子本町1丁目1-12

王子権現は、縁起によれば紀州熊野三所を勧請したもので、祭神は速玉之男命、伊弉册尊、事解之男命です。王子村は古くは岸村と称していましたが、同社が勧請されて王子村と改めたといわれています。勧請の年代は不詳ですが、康平年中(1058-65)源義家が奥州征伐(前9年の役)の時、ここで金輪仏頂の法を修せしめ、凱旋の日、甲冑を奉納したと縁起にあるので、それ以前の勧請であると推定されます。



1 清光寺

東京都北区豊島7丁目31

真言宗豊山派寺院の清光寺は、医王山と号します。清光寺は、豊島清光が開基となり創建、鎌倉期は大寺でしたが、太田道灌との戦いに敗れた豊島泰経の没落後、衰退、戦国時代末期の布川豊島氏の一族豊島明重により再興したといわれています。当寺に安置されている豊島清光像は江戸時代中期の作で、北区指定文化財です。



2 紀州神社

東京都北区豊島7丁目15-1

紀州神社は、元亨年中(1321-24)、紀州熊野の鈴木重尚が現在の北区豊島の地に拠点を置いた在地領主豊島左衛門清光に諮り、王子村に勧請したといわれています。天正年中(1573-92)争論があり、小名(こな)宮ノ前に、更に小名馬場に遷座を繰り返した後、当地に遷座したといわれています。



5 平塚神社

東京都北区上中里1丁目47-1

平塚神社の創立は、平安後期元永年中といわれています。八幡太郎源義家が奥州征伐の凱旋途中にこの地を訪れ領主の豊島太郎近義に鎧一領を下賜されました。近義は拝領した鎧を清浄な地に埋め塚を築き自分の城の鎮守としました。塚は甲冑塚とよばれ、高さがなかったために平塚ともよばれました。さらに近義は社殿を建てて義家・義綱・義光の三兄弟を平塚三所大明神として祀り一族の繁栄を願いました。



アプリ内のコースチャレンジでも同じコースが歴史探訪コース(紀州和歌山編)として紹介されています。コース制覇で貯めたポイントで景品の抽選に応募できます!

北区健康づくり総合アプリ「あるきた」